

★ Pick Up ★ ～まちづくり活動の助成事業募集！～

高知市では、市民のみなさんの「高知市を住みよいまちにしたい」という思いを、具体的なまちづくり活動として実現するための支援制度として、公益信託「高知市まちづくりファンド」と「こうちこどもファンド」を行っています。

例えば、自然環境の保全、防災、福祉、教育、文化、スポーツ、生涯学習、住みやすい環境づくりや人づくりなどの様々な活動が助成の対象となります。

助成先を決定する公開審査会や、活動の成果を報告するための発表会は、高知市をより住みよいまちにしたいという思いを持つ人の交流の場や、お互いの活動を発展させていく場にもなります。皆さんの住まわれている地域で、また、市域全体で、両ファンドを活用した「まちづくり活動」を始めてみませんか。



○公益信託「高知市まちづくりファンド」

【応募資格・応募締日】

市内に活動拠点があり、3名以上のグループであること。そのうち1/3が市内在住・在勤・在学であること。

応募締日：平成30年6月22日（金）

【助成金額】

- |                    |    |       |
|--------------------|----|-------|
| A「学生まちづくり」コース      | 上限 | 5万円   |
| B「まちづくりはじめての一步」コース | 上限 | 5万円   |
| C「まちづくり一歩前へ」コース    | 上限 | 30万円  |
| D「まちづくり拠点整備」コース    | 上限 | 100万円 |
| E「まちづくりたまご」コース     | 上限 | 3万円   |

応募については、高知市市民活動サポートセンターまで  
高知市鷹匠町2-1-43（高知市たかじょう庁舎2F）  
Tel 088-820-1540

○「こうちこどもファンド」

【応募資格・応募締日】

- ①市内に在住・在学の18歳以下の子どもが3名以上
- ②サポートする20歳以上の大人が2名以上
- ③複数世帯（2世帯以上）の子どもで構成

応募締日：平成30年5月10日（木）

【助成金額】

上限20万円



☆平成29年度活動発表会開催☆

平成30年3月18日（日）13:30～17:00

※開催前（12:30～13:00）に制度説明も行います！

場所：高知市南部健康福祉センター

応募については、地域コミュニティ推進課まで  
Tel 088-823-9080

今月の地コミくん・地コミちゃん



このコーナーでは、地域コミュニティ推進課で働く仲間や仕事の内容を皆さんにもっと知ってもらうため、職員（地コミくん・地コミちゃん）を紹介していきます。

今月の地コミくんは、昨年4月に保険医療課から異動してきた『西尾 卓哉（にしお たくや）さん』です。

学生時代は弓道、卓球、サッカー等、そして現在はソフトボールと、スポーツが好きな西尾さんは、浦戸湾・七河川一斉清掃、ふれあいセンター・コミュニティセンターの管理業務を中心に担当しています。最初は前課とはまったく違う業務に戸惑うことも多かったそうですが、周りの職員さんに教わり、助けをもらいながら、徐々に慣れてきたそうです。

今後どんな公務員になりたいですか？という質問に「住民のみなさんに信頼いただける職員になりたい！！」と熱く意気込みを語ってくれた西尾さんの今後にますます期待です！  
（同期職員 K、O筆）

まちづくり“一緒にやろうや！”通信（発行：平成30年2月）

高知市市民協働部 地域コミュニティ推進課

〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43 たかじょう庁舎2階

TEL：088-823-9080 / FAX：088-824-9794

E-Mail：kc-102000@city.kochi.lg.jp

HPアドレス：http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/



携帯・スマートフォンからは、こちらのQRコードをご利用いただくとスムーズにアクセスいただけます。

# まちづくり☆通信

一緒にやろうや！ 2018.2月号

## 第2回 高知市地域内連携協議会全体交流会

を開催しました！



平成30年1月27日（土）総合あんしんセンターにて、高知市地域内連携協議会同士や高知市との意見交換・情報共有の場として、「第2回 高知市地域内連携協議会全体交流会」を開催しました。

当日は総勢85名（市職員含む）の参加があり、地域内連携協議会のみなさんと、設立に向けてご検討いただいている地域のみなさん、また地援隊※も参加し、活動発表や意見交換を行いました。

◆「地援隊」ってなあに？◆

正式には「地域活動応援隊」といい、高知市が認定した地域内連携協議会への人的な支援として、地域と行政の協働による地域づくりの“つなぎ役”として、地域に関わり、地域を応援していく市職員のことです。主に、会議等に参加し、行政情報の提供、地域への助言や行政との連絡調整を行っています。



# 第2回 高知市地域内連携協議会全体交流会 活動発表・意見交換

久重、下知、鏡、朝倉第二、長浜・御豊瀬地域から、それぞれの地域内連携協議会の取り組みについて、発表がありました。



## 久重地域連携協議会

- コミュニティ計画の策定  
大人だけでなく、子どもも計画づくりに参加し、地域課題・目標の共有化や一体化・協力体制を促進

## 下知地域内連携協議会

- 学生団体「KOCHIのZOU(こうちのぞう)」との連携  
学生同士、学生と地域との交流の場づくり
- 挨拶で繋がる街運動  
あいさつ啓発標語の募集、表彰

## 鏡地域連携協議会

- 運営の仕方の工夫  
楽しみながら活動できるように、会の中で1回は笑わせる！
- ライトアップ事業  
(鏡夏祭り、かがみ桜まつり)
- 広報誌『かがみづくり』の発行



活動発表の様子

## 朝倉第二小学校区地域内連携協議会

- 会議の仕方の工夫  
話し手が固定化しないように、グループワークを取り入れ、参加者が意見を出しやすい会議へ

## 長浜・御豊瀬連携協議会

- 久重地域との交流  
活動紹介や懇親会を通じて交流を実施
- 部会制の取り組み  
活動方針をもとに福祉、活性化、安全・安心の3つ分野で専門部会を設けて活動

活動発表を行った地域の方10名（5地域×2名）を中心に、各テーブルで意見交換を行いました。意見交換の中では以下のような意見が出ていました。

- Q. 若い人や女性に参加してもらうには？子どもとのつながりを作るには？
- A. 学校やPTA、体育会とのつながりを作る
- Q. 自主財源をどう確保するか
- A. 企業との連携を作り、後援してもらう
- Q. 地域住民へどのように活動を伝えているか
- A. 広報誌やHP（ホームページ）を活用する など



多くの地域内連携協議会が設立から1、2年ということもあり、どのグループでも実際に運営や活動をしてみて感じた悩みや課題についての意見が多く出されました。

会の終わりに書いていただいたアンケートでは「様々な取り組みを知ることができてよかった」、「他の地域の方と交流ができてよかった」、「とても発展的な意見交換ができた」などのご感想をいただきました。

今後もこういった交流会を続けていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



## 高知市まちづくり未来塾 視察旅行に行ってきました



平成29年12月2日、3日に鳥取県鳥取市へ視察旅行に行ってきました。未来塾では、2年に1度視察旅行に行っています。今回は、未来塾が開催している人材育成の取り組みである「未来塾の塾」の参考になればという思いで、鳥取市が開催している「とっとりふるさと元気塾」に14名が参加しました。

視察1日目は、鳥取市役所で地域振興局地域振興課の竹氏課長と平井主事が対応くださり、「とっとりふるさと元気塾」の事業説明をしてくださいました。予算500万円で民間団体に委託し、色々な人材育成の取り組みを開催しています。事業説明を受けた後、スーパーリーダー講座に参加しました。



講座の内容は、マイプラン（私の地域づくり計画）の立案—作成—発表の3回構成です。1回目に地域の問題点を洗い出し、2回目にその問題を解決するための仲間集めと資金調達の視点でマイプランを作成する。3回目に自分の考えを伝えるように発表するという内容です。我々は3回目に参加しましたが、それぞれ塾生のプランを相互評価しあうことで、自分自身のプランを客観視することや、見直すことができていました。ある程度まちづくりに精通した塾生だからこそできるのかもしれませんが、発表の中にはすごく実践的で、自分たちにもできそうなマイプランがいくつかあり、とても参考になりました。

2日目は、鳥取市鹿野町のNPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会から、まち並み散策をしながら協議会の取り組みについてお話していただきました。小さな城下町で、歴史のある家屋の保存、景観事業や空き家活用事業等、行政に頼らず、コミュニティビジネスを行い、補助事業で活動している取り組みは、素晴らしかったです。



その後、鳥取砂丘や砂の美術館を観光し、視察旅行を終えました。  
(高知市まちづくり未来塾 片岡達哉)

## 一緒にやろうや！地域活動実践ゼミナール

高知市では、地域活動の担い手の育成として、昨年8月から地域活動実践ゼミナール（通称：ちーかつ）を開講しています。前号でお伝えした第1～3回の講座の開催後、第4回、第5回を開催いたしました。

第4回では、スキルアップ講座としまして、会議等での意見のありようを視覚的に確認するために有効な手法の「ファシリテーション グラフィック」について勉強をしました。

第5回では、NPOについての基礎学習や、高知市まちづくりファンドを活用しながら、実際に活動されている2団体をお迎えし、現在の活動紹介や活動している中で出た課題等についてお聞きしながら交流しました。

現在、約20人の受講生の参加があり、平成30年度までの2年間で地域活動の実践的な学習を通じ、より良い地域活動への還元を目指します。

